賛助会会報

夢をかたちに！

第 33 号
広島県立技術短期大学校
広島市西区田方二丁目 25-1
TEL　082-273-2201
発行日 令和４年９月１日

インターンシップ報告会開催

５月 13 日(金)に，インターンシップ報告会を行いました。インターンシップでは，多くの賛助会会員企業様のご協力により，18 名の学生が 5 日間の実習を受けることができました。この 5 日間で，授業では学べないたくさんのことを習得して帰ってきました。

報告会では，コロナ感染拡大のため，2 年生は密を避けて，別室での参加となりました。

報告会では，各学生はインターンシップを受けたことにより，自分に不足しているものや，これからの自分自身の課題が見え，本当に貴重な経験になったようです。

【発表会の様子】

【質疑応答】

【2 年生は別室で参加】

オープンキャンパスャンパス

７月 29 日(金)オープンキャンパスが，開催されました。今回のオープンキャンパスは，学生主体で行われ，学内の設備や機器，競技大会の試験課題などについても，各担当の学生が詳しく説明していました。

【ＮＣ旋盤の説明】≪機械システム技術科≫

【FA プログラムの体験】≪制御システム技術科≫

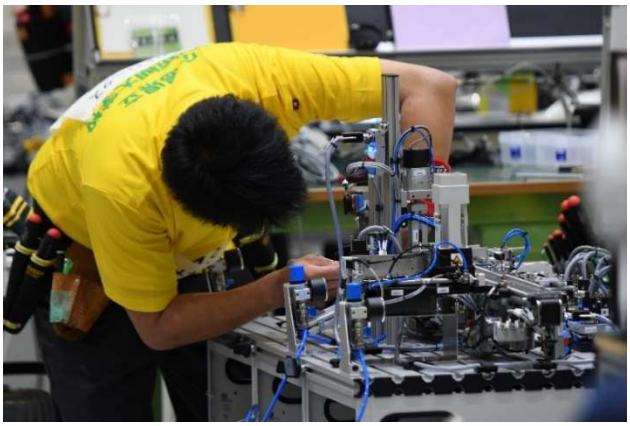
若年者ものづくり競技大会「メカトロニクス」職種に出場しました！

7 月 27 日，28 日に県立広島産業会館で開催された，第 17 回若年者ものづくり競技大会「メカトロニクス」職種に，制御（システム）技術科の学生 2 名が出場しました。

このメカトロニクス競技は，20 歳以下の学生たちが実際の生産現場を想定した競技用 FA モデルを用いて，知識と技術とチームワークを競います。当日発表される課題に２人１組のチームで生産設備を改造し，製品を確実に生産・検査・搬送するプログラムを作成して，課題の要求通りに動かす技が求められます。

競技は，第１課題と第２課題で構成されており，それぞれの組立や動作の完成度で採点され，総合得点で順位を競います。

今大会は，全国から 26 チームが参加し，当校の学生たちは初参加ながらも，これまで放課後の時間を使ってコツコツと練習した成果を発揮しました。



選手たちは設備の改造に時間を要したようですが，参加したチームの中でも比較的早く第１課題を完成させ，続く第２課題に取り組みました。しかし，競技時間内に第２課題を完成させるに至りませんでした。他のチームの完成状況から「もしかしたら入賞（６位まで）するかも・・・。」と淡い期待を持って結果を待ちましたが，あと一歩届きませんでした。

しかし選手たちは，２人で協力して息の合ったチームワークで課題にチャレンジしました。

本当によく頑張った学生たちの姿にこの半年間の大きな成長を感じました。

競技大会参加に際して，賛助会員様から多くの声援やご協力をいただき大変ありがとうございました。

来年度は静岡県で若年者ものづくり競技大会が開催される予定ですが，その大会に向けて準備を進めていきたいと思っています。

令和４年度前期技能検定を実施

「7 月 28 日（木曜日）。本日は，短大の技能検定（国家資格）実施日です。」

今までの練習結果をぶつけています。

普段は陽気な学生も，今日はオーラが違います。

普通旋盤作業

丸いものを削るのが得意な機械です。金属はもちろん，木材，プラスチック・・・何でも丸く削ることができます。

加工前

加工後

フライス盤作業

段取りが重要な機械です。四角いものを削るのが得意です。

几帳面な人向き(^^♪

加工前

加工後

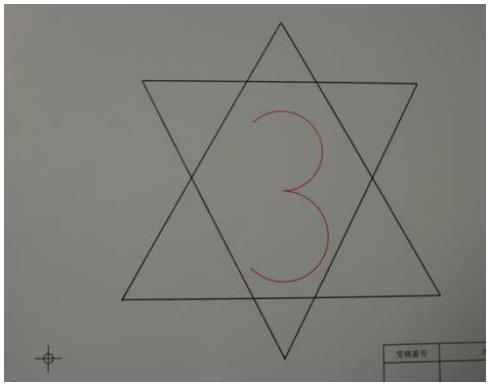
単純な形だけど，平行･直角出すのが難しいんです。

マシニングセンタ作業

当校始まって以来の挑戦です。試行錯誤でチャレンジしています。

機械自体は，金属加工会社であれば必ずある機械の一つです。

プログラムを入力することで，金属を加工していきます。



検定では、実際に加工は行いませんが，プログラム入力後，機械内に取り付けてある用紙にダミー工具を使い，このようなマークを描いていきます。

意味は分かりません(゜Д゜)

結果が出るのはおよそ１月後。
皆さんの合格を祈ります！！

2022Ene-1 SUZUKA Challenge 参戦

制御（システム）技術科の学生たちで活動している **EV-Project** が，７月 31 日(日)鈴鹿サーキットで開催された 2022 Ene-1 SUZUKA Challenge に出場しました。毎年夏に開催されるこの大会に 2019 年から参戦し，今年で３回目の出場になります。

（2020 年は，新型コロナウィルス感染拡大により中止）

Ene-1 Challenge KV-40 とは，単３電池 40 本を動力源とした手作りの電気自動車で，鈴鹿サーキット国際レーシングコースのタイムアタックを３回行い，その合計タイムを競います。速さはもちろん，高低差 52 ｍもある国際レーシングコース１周 5.807 kmを 3 周走り切るエネルギーマネジメントが求められます。車両の最低重量の制限がない Div1 クラスと，最低重量が 35kg に制限される DivNEXT クラスがあり，それぞれの総合と，一般部門、大学・高専・専門学校部門，高等学校部門，中学生部門に分けて表彰が行われます。**EV-Project** からは，Div1 クラスに１台(A チーム)，DivNEXT クラスに１台(B チーム)の計２台がエントリーしました。

１周目を走り終えて，「上り坂で思うように速度が出ない。トルク不足ではないか？」と A チームドライバーの丸岡君，「ブレーカが何度も落ちたり，カーブでスピンしたりした。」と B チームドライバーの瀬尾君。両チームとも四苦八苦していましたが，２周目，３周目と徐々にタイムを上げ，すばらしい走りを見せてくれました。

2022 Ene-1 SUZUKA Challenge 結果

走行タイム

	1stAttack	2st Attack	3rdAttack	Total Time
A チーム	9’57.038	8’45.465	8’44.040	27’26.543
B チーム	11’42.107	10’02.635	9’54.504	31’39.246

EV-Project A チーム
［総合］
18 位/96 チーム
［Div1 大学・高専・専門学校部門］
3 位/19 チーム

EV-Project B チーム
［総合］
23 位/96 チーム
［DivNEXT 大学・高専・専門学校部門］
1 位/6 チーム
［DivNEXT クラス］
2 位/27 チーム

大会に参加した８名のメンバーは，大会で得られた走行データや経験をもとに，10 月から車両の改良・製作に取り掛かります。

次の大会に向けて **EV－Project** の挑戦はつづきます。

【２０２２Ene-1 SUZUKA　challenge～学生たちの雄姿（記録）～】

在職者訓練ご案内

令和４年度の在職者訓練を実施しています。
まだ，申し込みができるコースもありますので，是非，ご活用ください。
オーダーメイドによる在職者訓練も実施していますので，お気軽にご相談ください。

No	講　座　名	定員	実施時期	申込み締切日
1	やさしい リレーシーケンス 中止	10名	7/7 7/14	６月 22 日（水曜日）
2	２次元 CAD （AutoCAD2020）	10名	8/27 9/3 9/10	申込締切りました。
3	機械基礎製図	10名	10/2 10/9	９月２日（金曜日）
4	NC 旋盤 中止	10名	8/2 8/3 8/4	申込締切りました。
5	３次元 CAD （Solidworks）	10名	10/29 11/5 11/12	10 月 14 日（金曜日）
6	マシニングセンタ	10名	11/26 12/3 12/10	11 月 11 日（金曜日）

QR コード

詳しいことは，当校のホームページに掲載しておりますのでご覧ください。
また申し込みも，ホームページの入力フォームからお願い致します。

お知らせ

○オープンキャンパスを，次のとおり予定しております。関係者へのお声掛けにご協力ください。

・10 月 8 日（土曜日）
・11 月 3 日（木・祝日）
・12 月 24 日（土曜日）

○2023 年度入学生募集

・推薦入学試験（専願）①

出願期間：2022 年 8 月 22 日(月)
～9 月 16 日(金)

試 験 日：2022 年 9 月 30 日（金）

合格発表：2022 年 10 月 12 日（水）

○会報は，行事等あるごとに不定期に発行します。